

令和3年度 熊本大学公開臨海実習実施要項

1. 開催地 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター
合津^{あいづ}マリンステーション（旧合津臨海実験所）
（〒861-6102 熊本県上天草市松島町合津 6061）
（TEL: 0969-56-0277 / FAX: 0969-56-3740）
（E-mail: henmi@kumamoto-u.ac.jp）

2. 授業科目 臨海実習 II 2単位

※ 但し、熊本大学で修得した単位を認めるか否かは、各受講者所属大学の決定になります。

3. 対象学生 : 学部1～3年生（学部、学科、専攻を問わない。）

【重要！】今年度は、以下のような新型コロナウイルス感染症対策を行う。

【以下に該当する学生は実習への参加を許可しない】

- ・緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の実施区域に居住する学生
- ・実習前の14日間に発熱等の体調に異常のあった学生
- ・実習前の14日間に海外渡航歴がある学生
- ・実習前の14日間に感染者や濃厚接触者と接触があった学生

【参加に当たっては以下の感染防止対策を施行・遵守する】

- ・各自割り当てられた宿泊室に2名以内で宿泊
- ・毎朝、体温測定器で発熱者の有無を確認
- ・施設内（実習船内含む）ではマスクの着用、手洗い、手指や共有物の消毒、換気を徹底
- ・実習室内では、使用する机を固定（各自が1.5m以上離れる）
- ・室内実習、食事、入浴時は‘ソーシャルディスタンス’を徹底
- ・施設内の共有スリッパは、実習中は同じものを使用

* 今後も状況が変わる可能性があり、参加前に必ず施設の実習に関するウェブサイト
https://cwmd.kumamoto-u.ac.jp/marine/aizu_marine_station/jisshu/
で最新情報を確認すること。

* 新型コロナウイルスの流行状況によっては実習そのものを中止する。実習開講直前に中止を決める場合もあるが、それに伴う移動費などのキャンセル料に関しては、本学は責任を負わない点、予め了承の上、実習参加を申し込むこと。

4. 期間 大学公開実習C（古生物学・地層学II）：

令和4年3月1日（火）午後6時～3月7日（月）午前11時（6泊7日）

大学公開実習 D (生物多様性学) :

令和 4 年 3 月 16 日 (水) 午後 6 時~3 月 22 日 (火) 午前 11 時 (6 泊 7 日)

5. 主な指導教員

へんみやすひさ

逸見泰久 (熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター・教授)

嶋永元裕 (熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター・教授)

山田勝雅 (熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター・准教授)

田中源吾 (熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター・准教授)

松田竜也 (熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター・特別研究員)

6. 定員 各実習とも 12 名

(先着順。参加が不可になった学生には締切後に連絡するが、早めにメールや電話で逸見に問い合わせてもよい。)

7. 申込締切 大学公開実習 C : 令和 4 年 2 月 17 日 (木)

大学公開実習 D : 令和 4 年 3 月 4 日 (金)

(定員に達していない場合は、締切以降でも受け付けることがある。)

※ 学生個人からの直接申込は受け付けられないので、必ず所属大学の教務を通じて申し込むこと。ただし申し込み時に、合津マリンステーション

(henmi@kumamoto-u.ac.jp) にも受講希望のメール連絡をすること (実習直前の緊急連絡用などに使用)。

8. 実習の日程予定

※ 天候次第では、内容あるいは順序を変更する。

大学公開実習 C

- 3 月 1 日 (火) 午後 6 時集合。7 時から食事。
夜 : ガイダンス。
- 3 月 2 日 (水) 午前 : 化石についての講義。
午後 : 千巖山で地層観察。化石採集。
夜 : 化石の同定とクリーニング。
- 3 月 3 日 (木) 午前 : 白亜紀資料館見学。
午後 : 櫛島・和田の鼻で化石採集。
夜 : 化石の同定とクリーニング。
- 3 月 4 日 (金) 午前 : ミナミハンドウイルカの行動観察。
午後 : 白亜紀の壁の地層観察・化石採集。
夜 : 化石の同定と講義。
- 3 月 5 日 (土) 午前 : 化石と微化石についての講義。
午後 : 微化石の抽出。
夜 : 微化石の電子顕微鏡観察とレポートの作成。
- 3 月 6 日 (日) 午前 : レポート作成。
午後 : 干潟で現生生物の観察。

夜：ウミホテルの観察とレポートの提出。
3月7日（月） 掃除・片付け。午前11時頃に解散。

大学公開実習 D

3月16日（水） 午後6時集合。7時から食事。
夜：ガイダンス。
3月17日（木） 午前：有明海・八代海の環境と生物についての講義。
午後：永浦干潟でのカニ類の観察とドローン試運転。
夜：ドローン操作法。
3月18日（金） 午前：生物の分布と密度の調査法についての講義。
午後：前島での岩礁生物調査。
夜：データ解析。
3月19日（土） 午前：有明海特産種・準特産種・特定外来生物に関する講義。
午後：大野川での塩性湿地・干潟生物調査。
夜：データ解析。
3月20日（日） 午前：データ解析。
午後：永浦干潟での干潟生物調査。
夜：データ解析
3月21日（月） 午前：ミナミハンドウイルカの行動観察。
午後：データ解析。
夜：レポート提出・ウミホテル観察・懇親会
3月22日（火） 掃除・片付け。午前11時頃に解散。

9. 経費 各実習とも8,000円程度（6泊17食の食費と諸経費の合計）

※ 公立・私立大学の学生で、単位取得を希望する学生については、授業料（29,600円）を徴収する（熊本大学の規則に基づく）。

10. 準備するもの

<共通>筆記用具。汚れたり濡れたりしても差し支えないような衣類・雨具（長袖、長ズボン、帽子、雨合羽、運動靴、タオルなど）。

医薬品（乗り物に弱い人は酔い止め薬など）が必要な人は各自準備すること。洗面具（歯ブラシ・石けん・シャンプーなど）や寝間着なども個人で用意すること。なお、長靴、軍手、ケント紙、レポート用紙、岩石ハンマー、タガネ、クリノメーター、新聞紙などは合津マリンステーションで準備する。

<公開実習 C>船上および野外調査に適した服装を準備（長袖（船上は陸よりも寒くなることもある）、長ズボン、日焼け止め、乗り物に弱い人は酔い止め薬など）。レポート作成用にノートパソコン・デジタルカメラがあると便利だが、管理は自分で行うこと。新品（もしくはウイルスチェック済）のUSBメモリー（2GB以上）を持参すると顕微鏡写真の画像ファイルを“お土産”としてコピーできるので便利。なお、ノートPC数台は貸出可能。

<公開実習 D>レポート作成用にノートパソコン・デジタルカメラがあると便利だが、管理は自分で行うこと。新品（もしくはウイルスチェック済）のUSBメモリー（2GB以上）

を持参するとドローンで撮影した画像などを“お土産”としてコピーできる。なお、ノートPC 数台は貸出可能。

1 1. 知っておいて欲しいこと

熊本大学臨海実習施設「合津マリンステーション」は、九州有数の観光地で、日本三大松島に選定されている松島町にある。ここでは、風光明媚な多島海の景色や温泉を楽しむことができる。

合津マリンステーションは、1952年6月に熊本大学理学部附属合津臨海実験所として発足し、現在は、熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター附属の臨海実習施設となっている。臨海実習に利用可能な用具や水槽を備えるほか、ハンマーやクリノメーターなど地質系の実習用具も備えている。また、実習に関連した専門書や図鑑が充実しており、行動観察のためのVTR関連の機材も比較的豊富である。

宿泊室と実習室は、それぞれ空調設備がある。男女別の浴室はそれぞれ5つの個室シャワールームと全自動洗濯機・衣類乾燥機を備え、使用は自由である。

1 2. その他の注意事項

合津マリンステーション付近にはカードで現金を引き出せるところはない。コンビニエンス・ストアや地方銀行の支店はあるが、約2km離れている。郵便局も約3km離れている。1日1度は買い出しに行くので、必要な場合は、その際にカードで現金を下ろすことは可能である。

1 3. 合津マリンステーションまでの道順

*これらの公共サービスは、令和3年度現在、コロナウイルス流行に伴い減便をしている。実習直前にも変更される可能性があるので、随時情報をチェックする事。

熊本市の中心部にある熊本桜町バスターミナルからJR熊本駅前にある産交バスターミナルを経由して下に示す天草の本渡市へ向かうバス便（快速あまくさ号）がある。熊本空港からの天草直行便は廃止になったので、熊本空港からバスで移動する場合は、熊本桜町バスターミナルで乗り換えること。

天草行の快速バス（快速あまくさ号）に乗車後、合津マリンステーションへは、途中のバス停「前島」で下車すること。熊本桜町バスターミナルからおよそ1時間35分かかる。バス停から合津マリンステーションまでは歩いて5分。熊本桜町バスターミナルおよび熊本駅前から前島までは、令和3年11月1日現在1,510円となっている。マリンステーションに集合する時刻は午後6時であるが、それより早く到着しても差し支えない。

福岡空港発着の便を利用する場合は、福岡空港から熊本桜町バスターミナルへ直通のバスがあり、片道約2時間（2,280円）かかる（令和3年6月22日現在）。空港からは、地下鉄を利用して博多駅に行けるので、JRの利用も可能である。この場合、博多駅ー熊本駅間は、在来線の場合最短で片道約2時間（2,170円）、新幹線で片道約40分（4,700円：乗車券+自由席特急券）となる。

JRを利用する場合、熊本駅で三角線に乗り換えて、三角駅まで行き、近くのバス乗り場から松島行きのバスに乗るのも一つの方法である。また、三角駅から8分歩くと「天草アレグリアガーデン」行きの快速バスの乗り場（五橋入口）があり、そこから乗ることもできる（一部のバスは三角駅を経由する）。

詳しい道順は、マリンステーションのホームページ内（下記参照）に掲載している。

1 4. 合津マリンステーションへの連絡

何らかの事情で到着が遅れる、あるいは受講できなくなった場合には、必ず合津マリンステーション（以下の連絡先）まで連絡すること。

熊本大学合津マリンステーション



（〒861-6102 熊本県上天草市松島町合津 6061）

（TEL：0969-56-0277）

（FAX：0969-56-3740）

（E-mail: henmi@kumamoto-u.ac.jp）

（URL: https://cwmd.kumamoto-u.ac.jp/marine/aizu_marine_station/）

熊本大学自然科学系事務課理学部教務担当

（〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39-1）

（TEL：096-342-3321）